

提供日 2023/3/31

タイトル 公開講座『県大×おまちゼミ 静岡で学ぶ世界の文化』の開催

担当 静岡県公立大学法人 静岡県立大学

国際関係学部 森 直香



静岡県立大学記者提供資料

「演劇祭は私たちに何をもたらすのか？」

—SPAC の制作スタッフと考える『ふじのくに⇄せかい演劇祭』」

公開講座『県大×おまちゼミ 静岡で学ぶ世界の文化』「演劇祭は私たちに何をもたらすのか？—SPAC の制作スタッフと考える『ふじのくに⇄せかい演劇祭』」を開催します。講座では SPAC（静岡県舞台芸術センター）制作部の丹治陽（たんじ はる）氏を迎え、4・5 月に開催される「ふじのくに⇄せかい演劇祭」の見どころの解説、静岡で国際演劇祭を開くことの意義などをご講義いただきます。

参加者募集および当日の取材をぜひお願いいたします。

記

◆日時 4月13日（木）10時40分～12時10分

◆会場 静岡県立大学 2309 教室（一般教育棟 3 階）

※駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用ください。

◆内容 参加費は無料です。参加ご希望の方は下記のフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/eqJNNDUaQj6j91Mc8>

◆参加者 静岡県立大学の学生・教職員。一般は 15 名まで（先着順）。

◆その他

「県大×おまちゼミ」とは静岡県立大学国際関係学部の教員が企画する公開講座です。大学の教室だけでなく、街中のオープンスペースやレストランなども会場に、海外にゆかりのあるゲストを招き、マンガや食文化など親しみやすいテーマをとりあげます。

【本件に関するお問い合わせ先】

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

静岡県立大学 国際関係学部・教員 森直香

メールアドレス naokamori(ここに@を入れる)u-shizuoka-ken.ac.jp

公開講座『県大×おまちゼミ 静岡で学ぶ世界の文化』

「演劇祭は私たちに何をもたらすのか？
—SPACの制作スタッフと考える
『ふじのくに⇒せかい演劇祭』」

SPAC (SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER 静岡県舞台芸術センター) は、専用の劇場や稽古場を拠点として、俳優、舞台技術・制作スタッフが活動を行う日本で初めての公立文化事業集団で、静岡県が誇る文化財産のひとつです。今回はSPAC制作部丹治陽氏を迎え、4・5月に開催される「ふじのくに⇒せかい演劇祭」の見どころの解説、静岡で国際演劇祭を開くことの意義などをご講義いただきます。



講師 丹治 陽氏 (SPAC制作部)

4月13日(木) 10時40分～12時10分

於 静岡県立大学 2309教室 (一般教育棟3階)

参加費無料。参加ご希望の方は上記のフォームよりお申し込みください (一般15名まで・先着順)。



講師プロフィール

SPAC—静岡県舞台芸術センター制作部 副主任。1982年生まれ。神奈川県横浜市育ち。小学4年から大学までラグビーに熱中。大学では建築設計を学ぶも、劇場・舞台芸術の可能性に気づき、アートマネジメントを志向する。2006年よりSPAC制作部に所属。SPAC作品制作のほか人材育成事業に多く携わる。2015年、文化庁在外研修制度を活用しグラスゴーに滞在。2019年より静岡県立大学非常勤講師。

「県大×おまちゼミ」とは？

静岡県立大学国際関係学部の教員が企画する公開講座です。大学の教室だけでなく、街中のオープンスペースやレストランなども会場に、海外にゆかりのあるゲストを招き、マンガや食文化など親しみやすいテーマをとりあげます。

主催 県大×おまちゼミ実行委員会

後援 静岡県立大学広域ヨーロッパ研究センター

お問い合わせ 静岡県立大学国際関係学部・教員 森 直香

naokamori@u-shizuoka-ken.ac.jp

